

# 臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所/No. 2008-R05

先生各位

平成 20 年 3 月

A-08-05

## 新規受託項目のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご案内申し上げます。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねて参りますので、今後とも変わらぬお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

項目コードNo.	13030
項目名	HIV-1 定量/リアルタイム PCR 法
検査方法	RT-PCR 法(リアルタイム PCR 法)
検体必要量	専用容器 血清 3.5 ml <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単独依頼</span>
基準値	検出せず
単位	copy/ml
報告日数	4~7 日
保険点数	510 点(微生物学的検査 150 点)

備考 現行法との相関  $y=0.9632x+0.2701$   $r=0.9593$   $n=149$

### HIV-1 定量/リアルタイム PCR 法

HIV-1 のウイルス核酸定量で新たに TaqMan プローブを用いたリアルタイム PCR 法での測定を開始致します。リアルタイム PCR 法では、従来のエンドポイント PCR 法による定量での測定範囲(ダイナミックレンジ)の狭さを解消できることに加え、高感度化を実現しています。

現行法では、患者の感染状態からウイルス量を予想し、標準法(HIV1-RNA 定量)や高感度法(HIV1-RNA 高感度定量)を選択する必要がありましたが、リアルタイム PCR 法ではその必要はなく、40 copy/ml から  $10^7$  copy/ml の広範囲でウイルス量を測定できます。現行 HIV-1 核酸定量 PCR 法との相関は良好です。

本検査での定量下限は 40 copy/ml ですが、それ未満でもウイルス存在を認める場合はその結果を「<40+」の表示でご報告致します。

HIV 感染スクリーニングにおいては、従来と同様に確認検査としてご利用できます。

本検査は抗ウイルス剤による治療時のウイルス量のモニタリングに最適です。

### ◆現行法との相違点

1. 採血管が変更となります。  
検査必要量が増加するため、現行の 3ml 採血管から 8ml 採血管へ変更になります。
2. 定量下限未満でも、ウイルスの存在を認めるシグナルを測定した場合は結果をご報告します。

#### <結果表示法>

定量範囲	40 copy/mlから $10^7$ copy/ml
ウイルスのシグナルのみを認めた場合	<40 <sup>注)</sup> 注)ウイルス定量値は得られませんが、40 copy/ml未満のウイルスが存在する場合
ウイルスのシグナルを認めない場合	検出せず